

ERE information

Vol. 4 2003年12月19日発行

発行 / 特定非営利活動法人 日本経済学教育協会・事務局 発行責任者 / 松崎 英樹
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町 3 番21号 電話 03) 8267 - 4819

Contents

- ▶ 大学院入試に『ERE』を導入 / 小樽商科大学
- ▶ 2004年度より実施日・受付期間・受験会場・受験料等が変更になります
- ▶ 『ERE』の平均点が40点アップ (第4回成績結果)
- ▶ 受験者からのメッセージ
- ▶ 経済学検定試験 (ERE) の活用 / 平田純一・立命館大学教授
- ▶ 事務局からご連絡
 - ・第6・7回試験要項について

▶ 大学院入試に『ERE』を導入 / 小樽商科大学

小樽商科大学では、2004年度入学者対象に行われた今秋の大学院経営管理専攻 (2004年度から現代商学専攻に名称変更) 入学試験より、従来の選考方法である専門科目の受験による判定に加え、ERE (Economics Record Examination ; 経済学検定試験) の成績結果をもって専門科目の受験に代えることができることを決定いたしました。EREの成績結果を利用し出願するには、出願締切日から起算して1年以内にEREを受験した際の成績結果の中から志願者は選択・提出することになります。

これにより、同専攻の選考方法のうち学力検査は、専門科目の受験による判定、専門科目の受験とEREの成績結果を比較のうえ判定、EREの成績結果による判定、となりました。

「経済学検定」で
大学院受験OK
小樽商大

小樽商大北海道小樽市(二十四日、十月に実施する大学院入試から、専門科目の代わりに「経済学検定試験」の成績を可否の判断に代用できるようにすることを決めた。経済学検定試験は、民間非営利組織「日本経済学教育協会」が昨年(一年一回実施している。同協会によると、経済学検定試験の大学院入試への代用は全国初。

【問合せ先】

小樽商科大学
入学主幹付入学試験係
〒047-8501
北海道小樽市緑
3丁目5番21号
TEL : 0134 - 27 - 5254
e-mail :
nyushi@office.otaru-uc.ac.jp

▶2004年度より実施日・受付期間・試験会場・受験料等が変更になります

▶実施日・受付期間について

2004年度より受験日を下記のとおり変更します。

- ・第6回『E R E』『E R Eミクロ・マクロ』: 2004年7月4日(日)
(受付期間: 2004年4月19日(月)~2004年5月20日(木) 消印有効)
- ・第7回『E R E』『E R Eミクロ・マクロ』: 2004年12月5日(日)
(受付期間: 2004年9月20日(月)~2004年10月22日(金) 消印有効)

現行の『E R E』の実施月は、10月と3月の年2回になっていますが、10月受験の場合、受付期間が大学の夏季休暇中になること、3月試験の場合、実質、学生は春季休暇に入るため受験に際して時期的な不都合等がありました。

そのため、平成16年度より7月と12月の年2回の実施と変更することとなりました。また、これにより受験者においてはともに前記・後期の定期試験の時期にあたりその準備も兼ね受験しやすい日程となります。詳細は、本紙8頁の実施要綱をご参照ください。

▶試験会場について

今年度まではE R Eの実施において、銀行業務検定試験(主催:銀行業務検定協会)と並行実施していたため、全国に100の会場が設置されていました。しかし2004年度より単独実施となるため試験会場が全国主要都市を中心とした会場になる予定です。

したがいまして、学生が属する大学で(ゼミ単位等で)受験することができる委託会場方式制度のご利用を、当協会より推奨させていただきます。委託会場方式の詳細については、決定次第別途ご案内申し上げます。

▶受験料について

消費税法におきまして、新たに設立した法人は課税期間の基準期間が存在しないことより、法人の設立当初2年間は原則免税業者とされています。日本経済学教育協会も同法の特例の適用を受けることにより、本年度まで受験料につきまして非課税となっておりました。

しかし平成16年度より、この特例の対象外になることより、受験料が下記のとおり変更となります。

- ・『E R E』 変更前: 5,000円(非課税) 変更後: 5,250円(税込)
- ・『E R Eミクロ・マクロ』 変更前: 3,000円(非課税) 変更後: 3,150円(税込)

『E R E』の平均点が40点アップ(第4回成績結果)

2003年10月26日(日)、第4回E R Eが全国の試験会場において同時に実施されました。今回より『E R Eミクロ・マクロ』が新設されたことより、大学1・2年(回)生を中心に『E R Eミクロ・マクロ』に受験者が移行した影響によるものか、『E R E』の平均点が前回の445.9点より約40点上昇し486.5点となりました。

また、受験者の内容をみると、『E R E』については、大学学部の上級生・大学院生・社会人の方が、『E R Eミクロ・マクロ』については大学学部の下級生・社会人の方が中心を占めていたのが特徴です。

成績の概要は、『E R E』は平均点486.5点、S: 5名、A+: 18名、A: 38名、B+: 41名、B: 86名、C: 105名、D: 25名、『E R Eミクロ・マクロ』は平均点203.2点、S: 9名、A+: 11名、A: 33名、B+: 28名、B: 81名、C: 97名、D: 19名という結果になりました。

《資料1》成績概要

	ERE	EREミクロ・マクロ
応募者数	426名	396名
受験者数	318名	278名
平均点	486.5点	203.2点
分散	16383.53	3530.58
標準偏差	127.99点	59.42点
最高得点	860点	390点
最低得点	170点	90点

《資料2》科目別成績

『ERE』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学	時事経済
配点	250点	250点	100点	100点	100点	100点	100点
平均点	110.1点	127.1点	63.3点	49点	49.8点	36点	51.3点
(前回)	122.7点	105.2点	52.1点	44.9点	34.8点	33.5点	52.8点
分散	1703.53	1775.53	444.08	426.94	348.78	264.36	368.14
標準偏差	41.27	42.14	21.07	20.66	18.67	16.26	19.19
(前回)	40.23	38.57	21.33	19.22	16.77	16.34	20.16

『EREミクロ・マクロ』

科目	ミクロ経済学	マクロ経済学	財政学	金融論	国際経済	統計学	時事経済
配点	250点	250点	*****	*****	*****	*****	*****
平均点	97.6点	105.6点	*****	*****	*****	*****	*****
(前回)	-	-	*****	*****	*****	*****	*****
分散	1302.12	1249.14	*****	*****	*****	*****	*****
標準偏差	36.08	35.34	*****	*****	*****	*****	*****
(前回)	-	-	*****	*****	*****	*****	*****

《資料3》団体応募状況

ERE		ERE ミクロ・マクロ	
立命館大学	33名	立命館大学	28名
慶應義塾大学	30名	広島修道大学	19名
新潟大学	30名	新潟大学	19名
東京大学	17名	関西大学	13名
早稲田大学	12名	長崎大学	13名
京都大学	9名	慶應義塾大学	12名
大阪経済大学	8名	福島大学	10名
中央大学	8名	神奈川大学	9名
愛知大学	7名	和歌山大学	9名
一橋大学	7名	新潟産業大学	8名
東北大学	7名	神戸商科大学	8名
和歌山大学	7名	埼玉大学	7名
近畿大学	6名		
専修大学	6名		

《資料4》上位者成績

E R E上位者成績

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	得 点	ランク
1	東北大学大学院	理学研究科	非 公 開	860	S
2	一橋大学大学院	経済学研究科	品 田 雄 志	820	S
3	東京大学	経済学部	門 倉 洋 平	800	S
3	東京都庁		野 口 悟	800	S
5	ゼロワン公務員ゼミナール	長崎校	三 宅 英 雄	780	S
6	杉本パーキング		小 林 大州介	770	A+
6	東京大学	経済学部	桑 原 哲 也	770	A+
6	東京大学	経済学部	長 田 充 弘	770	A+
9	早稲田大学	政治経済学部	二 宮 一 夫	760	A+
9	立命館大学	経済学部	西 口 友 貴	760	A+
9	立命館大学	経済学部	非 公 開	760	A+
12	学習院大学	経済学部	片 岡 優	750	A+
13			中 村 洋 徳	740	A+
14			三 好 浩 仁	730	A+
15			折 笠 洋 平	720	A+
15	京都大学大学院	経済学研究科	非 公 開	720	A+
15			原 田 文 教	720	A+
18	新日本監査法人		小 野 賢 二	710	A+
19	東京大学大学院	経済学研究科	非 公 開	700	A+
19	慶應義塾大学	経済学部	丹 羽 啓 介	700	A+
19	中央大学	経済学部	小 林 恭 二	700	A+
19	東京大学	経済学部	神 保 直 樹	700	A+

E R Eミクロ・マクロ上位成績者

順位	大学・勤務先名	所 属	氏名(敬称略)	得 点	ランク
1	京都大学	経済学部	豊 崎 千 秋	390	S
2	大原簿記学校	会計士講座総務部	大 石 晃一郎	380	S
2	東京大学	経済学部	非 公 開	380	S
4			吉 沢 公 人	370	S
4	鹿児島県庁	商工観光労働部	非 公 開	370	S
6	北杜学園	企画部	鈴 木 浩 二	360	S
6	大阪府立大学	経済学部	坪 井 昭	360	S
8	埼玉大学	経済学部	古 澤 将 士	340	S
8	早稲田大学	政治経済学部	新 藤 哲太郎	340	S
10	長崎県立大学	経済学部	中 原 正太郎	330	A+
11	高崎経済大学	経済学部	佐 藤 英 仁	320	A+
11	埼玉大学	経済学部	秋 野 直 哉	320	A+
11	法政大学	日本文学部	星 聖 一	320	A+
11	神戸商科大学	商経学部	藤 原 理 沙	320	A+
11	和歌山大学	経済学部	森 本 脩 平	320	A+
16	早稲田大学	教育学部	山 下 陽 一	310	A+
16	名古屋大学大学院	経済学研究科	松 金 拓 哉	310	A+
16	立命館大学	経済学部	非 公 開	310	A+
16	神戸大学	経済学部	吉 松 正 秀	310	A+
20	九州大学	経済学部	非 公 開	300	A+

▶受験者からのメッセージ

東北大学大学院理学研究科 氏名・非公開 860点（Sランク）

受験：第4回『E R E』

今回受験した目的・動機：公務員試験を受験するにあたって勉強のペースメーカーとして、また達成度の確認、短時間で多くの問題を解くという作業の体験が受験の目的です。

受験に向けての具体的な学習方法・対策：教科書を丁寧に読み、公務員試験やE R Eの過去問を解きました。また新聞も読んでいました。

E R Eを受験された感想：公務員を目指している人には、適度な難易度や本試験よりも厳しい時間などとても有益な試験だと思います。しかし本来の目的が「大学で学んだ経済学の理解度の確認」であることを考えると、短時間で知識を効率よくアウトプットすることや、事務处理的な計算をすばやく行うことが高得点に繋がる現在のシステムはいかがなものかとも思います。

大学院で学んでいる人や実務家の実力が正当に評価されるために、問題の難化（思考力重視への方向転換）と時間制限の緩和（問題数の削減）を望みます。

E R Eの普及に関するご意見・ご要望：学生に限らず社会人の受験者をもっと取りこめばよろしいのではないかと思います。そのためには、先に述べたような試験内容の変更が有効ではないでしょうか。

京都大学経済学部 豊崎 千秋(とよさき ちあき)さん 390点（Sランク）

受験：第4回『E R Eミクロ・マクロ』

今回受験した目的・動機：現在、公認会計士の資格試験のために勉強していますが、受験科目に経済学があるため、現在の学習の進捗状況の目安にしようと思い受験しました。

受験に向けての具体的な学習方法・対策：過去問2回分に目を通し範囲の確認をしましたが、普段勉強している経済学とかわりがないようだったことから、特別なことはしていません。

E R Eを受験された感想：ミクロ経済学から解き始めましたがマクロ経済学の最後のほうではかなり時間がありませんでした。できるかぎり時間配分には注意したつもりですが、やはり50問に対して1時間半は、力をだしきれず時間切れになってしまう人が多いのではないのでしょうか。

E R EとE R Eミクロ・マクロでは、ミクロ経済学・マクロ経済学の試験問題が同じですので、せっかくだから成績を比較可能にしてはどうでしょうか。母集団が大きいほうが、データに資すると思います。その際、E R Eの人は、他科目への時間をミクロ経済学・マクロ経済学に配分可能であることから、一旦、1時間半で2科目分だけ回収するなどにして、条件を揃えてみてはいかがでしょうか。

問題の難易度は、問題によりばらばらの感もありましたが、全体（2科目ですが）を通してみると、ちょうど良いレベルだと思います。

E R Eの普及に関するご意見・ご要望：申込の締切が早く、間に合わなかった人がいました。また、興味を示すが実際に受けるに至らない人も結構いるので、大学等が積極的に推奨してほしいです。普及に期待をしています。

経済学検定試験(E R E)の活用

平田純一・立命館大学教授

1 経済学検定試験(E R E)とは

立命館大学経済学部では、E R Eの第1回目から学生諸君に受験を奨励し、受験費用を大学の補助金で賄うという取り組みを行ってきたので、この間の経験をもとに、経済学部の教育活動にE R Eをどのように取り込んでいくのか可能性を考えたい。E R Eは内容的に定着しつつあるとはいえ、まだ若い試験制度であり、学生諸君の学力判定を的確に行うための基礎的な情報が十分に蓄積されているわけではない。立命館大学において、補助金を出してまで受験を奨励している目的は、まさにこうした情報を蓄積することが最大の目的である。団体受験をしている大学に対しては、当該大学生の受験成績も通知されるので、この成績とほかの学業記録等の関係を分析することも可能である。

E R Eに対応する試験としては、各種の公務員採用試験の問題が考えられる。公務員採用試験は、公務員を志望する人のみを対象とする試験であるのに対して、E R Eは、経済学を学習し各自の基礎知識を確認したい人は誰でも受験することが可能な試験である。

E R Eの大学教育における活用を考えるうえでは、公務員採用試験の内容との対応関係を整理しておいたほうがよい。公務員採用試験の場合、経済学関係の問題が出題されるのは国家種、国家種、国税専門官、地方上級といった試験であるが、試験ごとに出題される問題のレベルが異なっている。一方E R Eでは、初心者、国家種、国家種の公務員採用試験問題に対応する問題がほぼ三問のずつ出題されている。よって、E R Eは各種公務員採用試験の混合問題が出題されていると考えることができる。

2 大学教育における活用方法

第一の活用方法は、大学院入試における統一試験として利用することである。第二の利用方法は、学生諸君の大学における到達度検証に用いることである。第三に、経済学を学んでいくうえでは、問題を解いて練習することが絶対に必要であるので、良質な練習問題集を提供することである。

第一の大学院入試の共通試験として用いるのが、現在のところ最も自然な利用形態である。小樽商科大学では、実際に大学院入試にE R EやTOEFLの得点で代替することを認めている。1990年代に入って、大学院においても学生定員充足への要求が高まっており、これに伴って大学院入試の回数も増加している。この状況下で、いわゆる記述試験を個別大学ごとに出題することは、効率的ではなく、公平でもないかもしれない。現実問題として、ここ数年、大学院入試の時期になると多数の研究科において出題ミスが発覚している。こうした状況に対応するためには、個別大学の独自性は多少犠牲にしても、問題の質を追及することが必要であろう。また、個別大学の独自性は、研究計画書の評価、面接等によって工夫すべき課題になっているのではないだろうか。

大学院教育が大衆化しているアメリカでは、経済学の大学院ばかりではないがGRE (Graduate Record Examination) という統一試験で、英語(アメリカ人を対象とする国語)、数量分析と専門領域の能力を判定し、これと書類選考によって大学院入学者を選別している。日本でも今後、各研究科に共通でこうした方向性を検討することが必要となると考えられるが、経済学研究科においてはE R Eの活用が最も容易な方法である。もちろん、E R Eの成績(偏差値によるランク)がどの程度であれば、大学院教育に耐え得るのかに関しては、個別大学の

独自の判断による部分が大きいであろうし、今後情報をより一層蓄積していくことが必要であるが、ランク A あるいはランク B + が一つの基準となるのではなからうか。

第二の学部教育の到達度検証として E R E を利用することが、立命館大学経済学部が E R E に注目した最大の理由である。立命館大学経営学部では、1998年のキャンパス移転後、学部独自の到達度検証試験として総合基礎経営学の単位取得（合格得点を取得するまで卒業資格を認めない）を必修化している。経済学部においても同様の到達度検証を導入する必要があるという意見は存在する。しかし、経営学に比して基礎理論（ミクロ経済学、マクロ経済学：事務局加筆）の占める割合の高い経済学において、近代経済学とマルクス経済学の二つの基礎理論が並存している中で到達度検証試験を作成することは、極めて困難であるということも事実である。また、経済学のほうが、経営学に比して大学間の教育内容の相違が少ないということも事実であり、個別大学がすべて到達度検証試験を作成することも効率的ではない。

ここ十年以上、社会科学系の学部が多様化してきているのを受け、経済・経営・商学系学部への受験生の人気は低落傾向を示している。しかしながら、民間企業に入社して仕事をしていくうえでは、こうした学部の卒業生が最も適応しやすいことも事実である。このこと背景は、“読み書きそろばん”の基礎学力を比較的バランスよく身につけ、幅広い社会的視野を身につけていると考えられるからである。こうした状況を対社会的に認知させる意味でも、統一試験としての E R E を積極的に活用し、大学教育の成果を明示的に示すという形で E R E を活用することが可能ではなからうか。

3 E R E をより活用するために

ところで、E R E を大学院入試の学力判定の目的で利用する場合と大学教育の到達度検証の目的で利用する場合とでは、設定すべき目標が共通するわけではない。ここに、E R E 活用の難しさが存在しているとも言えよう。経済学部卒業生のうち大学院進学者数が増加しているとはいえ、その割合が一割を超える大学はほとんど存在しないであろう。卒業生の一割未満の学生を選別するための大学院入試と経済学部卒業生に共通に身につけさせたい到達度検証を同一水準に設定することは不適切である。

現在の E R E の出題内容を前提に、初心者用の問題と、国家種レベルの問題を到達度検証用の問題群、国家種レベルの問題を大学院入試受験者用の問題群と二分割し、それぞれ別々に受験したり成績を評価したりすることができれば、E R E の活用がより容易になるのではなからうか。

E R E の主催者もこうしたことを意識しているようで、今年10月の試験からは、基礎理論部分のみを独立に受験することができるようになった。しかしながら活用範囲の拡大には、こうした分割よりレベル別分割のほうが便利なのはなからうか。

第三の E R E の活用方法として、良質な練習問題集の提供を挙げた。日本の経済学の教育において、練習問題を解いて内容を正確に理解するという訓練がいまだ十分に定着していない。今後、E R E のように出題体制がしっかりした問題例が数多く作成され、これが蓄積され、到達度検証としての目標が明示されれば、問題練習が容易になる。と同時に、努力目標が明らかになり、学習意欲を刺激する効果も期待できる。また、これに対応した練習用教材の作成も容易になる。なお、E R E 受験者には比較的詳しい解答例が配布されているので、これも教育可能である。

（本稿は、社団法人日本私立大学連盟、そして筆者である平田純一教授のご好意により『大学時報』第52巻293号（通巻307号）から一部抜粋、転載させていただいたものです。なお、抜粋は、当事務局にて行いました。）

▶事務局からご連絡

▶2004年度『E R E』『E R Eミクロ・マクロ』実施要綱

2004年（第6回・第7回）の『E R E』『E R Eミクロ・マクロ』の実施および内容等の概要は次のとおりです。詳しくは検定試験運営センターにお問合せください（電話：03 - 3267 - 4821）。

『E R E』実施要綱

実施回	第 6 回	第 7 回
試験日	2004年7月4日（日）	2004年12月5日（日）
試験時間	午後1時00分～午後4時00分	午後1時00分～午後4時00分
受験願書 受付期間	2004年4月19日（月）～ 2004年5月20日（木）消印有効	2004年9月20日（月）～ 2004年10月22日（金）消印有効
受験料	5,250円（税込）	
出題科目	ミクロ経済学/マクロ経済学/財政学/金融論/国際経済/統計学/時事経済	
出題形式	4択一式/100問, 1問10点, 1,000点満点	
持込品	受験票, 筆記用具（HBの鉛筆, プラスチック製消ゴム）, 電卓（ただし, 金融計算電卓, 関数・メモ機能付は不可）, 顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）	

『E R Eミクロ・マクロ』実施要綱

実施回	第 6 回	第 7 回
試験日	2004年7月4日（日）	2004年12月5日（日）
試験時間	午後1時00分～午後2時30分	午後1時00分～午後2時30分
受験願書 受付期間	2004年4月19日（月）～ 2004年5月20日（木）消印有効	2004年9月20日（月）～ 2004年10月22日（金）消印有効
出題科目	ミクロ経済学/マクロ経済学	
受験料	3,150円（税込）	
出題形式	4択一式/50問, 1問10点, 500点満点	
持込品	受験票, 筆記用具（HBの鉛筆, プラスチック製消ゴム）, 電卓（ただし, 金融計算電卓, 関数・メモ機能付は不可）, 顔写真付身分証明書（学生証・運転免許証・パスポート等）	

（注）『E R E』のミクロ経済学・マクロ経済学と同一問題です。